

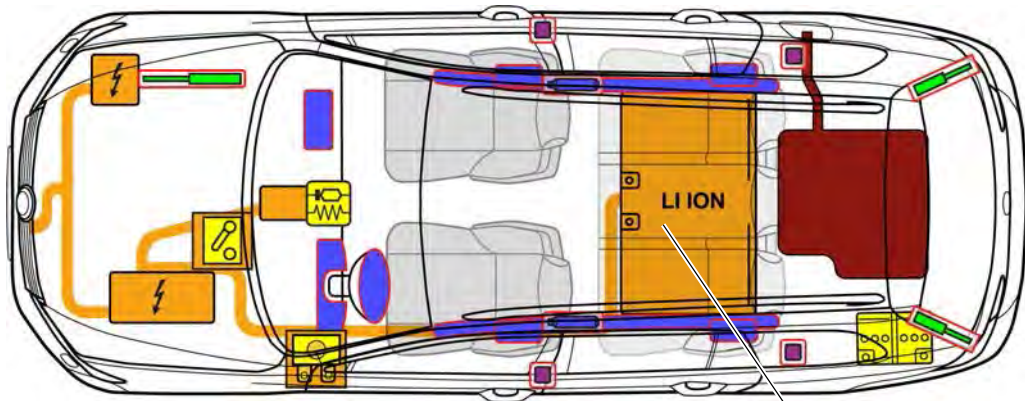


Volkswagen Passat GTE

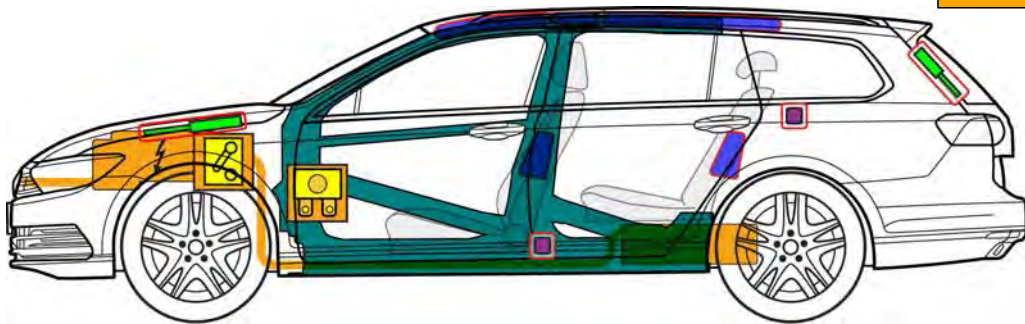
ステーションワゴン(2019年モデル以降)



注：EU仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある。



400V リチウムイオン



注：図は、最大限の装備を示す。

	エアバッグ		スタアード ガスインフレーター		シート ベルトプリテンショナー		SRS コントロール ユニット		アクティブ歩行者プロテクションシステム
	オートマチックロールオーバープロテクションシステム		ガス ストラット/プレテンションスプリング		ボディ補強		特に注意が必要な箇所		
	低電圧バッテリー		低電圧コンデンサー		燃料タンク		ガス タンク		セーフティバルブ
	高電圧バッテリー		高電圧ケーブル		高電圧システム遮断ポイント		ヒューズホルダー、高電圧システム遮断ポイント		高電圧コンデンサー
	高電圧システム遮断ポイント(低電圧箇所)		ヒューズホルダー、高電圧システム遮断ポイント(低電圧箇所)		高電圧部品		燃料タンク(ガソリン)		

追加情報

ドキュメント No.

rd_s_ww_482_002_en

バージョン

2020年6月版

ページ

1/4



Volkswagen Passat GTE

ステーションワゴン(2019年モデル以降)

注：EU仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある。

1. 車両の識別



エレクトロ モーターは作動音がほとんどしません。エレクトロ ドライブが“オフ”または“走行可能状態”のどちらになっているかは、ダッシュ パネル インサート(パワー メーター)のインジケーターで確認することができます。

エンブレム

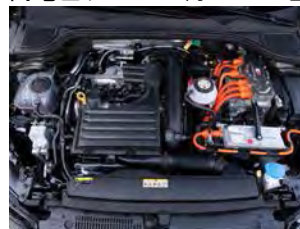


エンブレムの選択解除は可能です。

充電ソケット



高電圧ケーブル(オレンジ色)



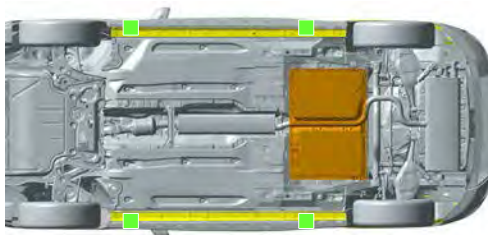
2. 車両の固定化/安定化/リフトポイント

車両を固定する

パーキング ブレーキをかけます。



リフティング ポイント



■ 適切なリフティング ポイント ■ 高電圧バッテリー

イグニッション スイッチをオフにする(パワー メーターは“オフ”を表示する)



ブレーキ ペダルを踏み込まずにスタート/ストップ ボタンを押します。



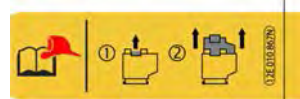
リモート コントロール キーの代わりにキー カードまたはスマートフォン アプリを使用することもできます。

3. 直接的な危険の回避/安全規則

高電圧システムを遮断する



オプション1：エンジン ルームから実施する





Volkswagen Passat GTE

ステーションワゴン(2019年モデル以降)

注：EU仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある。



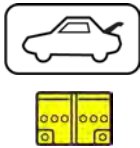
オプション 2：車内から実施する



高電圧部品および高電圧バッテリーを決して触ったり、切断したり、開放したりしないようにして下さい。必ず適切な保護具を着用して下さい。

エアバッグが作動する事故が発生すると、高電圧システムは自動的に遮断されます。高電圧システムは、遮断されてから約 20 秒後に、電源が切断された状態になります。

12V バッテリーの接続を外す



ラゲージ ルーム内のアース コネクション(-)の接続を外します。

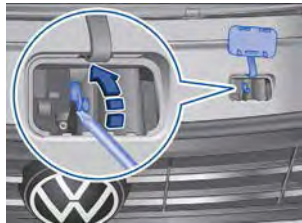
①



②

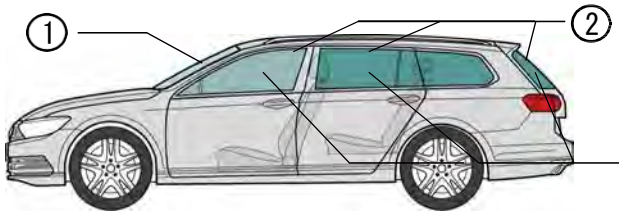


充電ステーションから分離する(エマージェンシー リリース)



1. ボンネットを開きます。
2. カバー キャップを取り外します。
3. スクリュードライバーでエマージェンシー リリースを作動させ、同時に充電プラグを引き出します。

4. 乗員へのアクセス



ガラスのタイプ：

- ① 複合材安全ガラス
- ② 単板安全ガラス
- ③ 複合材安全ガラス(オプション)

5. 蓄積エネルギー/液体/気体/固体



400V



最大 55L



Volkswagen Passat GTE

ステーションワゴン(2019年モデル以降)

注：EU仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある。



12V



バッテリークーリングシステムからクーラントが流出すると、高電圧バッテリー内で熱反応が起こる危険性があります。高電圧バッテリーの温度をモニタリングして下さい。



6. 車両火災



リチウムイオンバッテリーには自然発火する危険性があります。リチウムイオンバッテリーを損傷させたり適切に使用しなかったりすると、後に発火する危険性もあります。さらに、鎮火後に再度発火する危険性もあります。必ず適切な保護具を着用して下さい。



7. 車両の水没

車両を水から引き上げた後、高電圧システムを遮断し(3項を参照)、車両から水を排出して下さい。必ず適切な保護具を着用して下さい。

8. 牽引/輸送/保管



リチウムイオンバッテリーには自然発火する危険性や鎮火後に再度発火する危険性があります。



車両が事故に巻き込まれた場合、または高電圧バッテリーが損傷したり不安定になったりした場合：高電圧システムを遮断して下さい(3項を参照)。建物や他の車両との間に安全な距離(5m以上、隔離エリア)を確保して駐車して下さい。



事故に巻き込まれた車両の駆動輪を接地させて牽引しないようにして下さい。

9. 重要な追加情報

10. ピクトグラムの説明

可燃性	爆発性	腐食性	健康有害性	環境有害性	PHEV	ガソリンエンジン車	高電圧警告
		LI ION					
一般警告	大量の水を使用 しての消火	リチウム イオン バッテリー	危険電圧	スマートキー の作動範囲外へ の移動	赤外線サーモ グラフィカメラ の使用	ラゲージルーム	ボンネット